

市民会館の在り方を考えるワークショップ

まとめ

平成23年9月

堺 市

はじめに

本市では、現在の市民会館が開館してから46年経過し老朽化していることを踏まえ、新しい文化芸術の創造・交流・発信の拠点として建替え整備することを本市マスタープランに位置付け、進めています。

建替え事業を進めるにあたり、広く市民の皆さまにご参画いただくための取り組みの一つとして、このたび市民会館の在り方を考えるワークショップ(計4回)を開催いたしました。

このワークショップには公募により日頃から文化芸術に関連する活動をされている方々をはじめ、魅力ある堺のまちづくりに高い関心を寄せていただいている39名の方々にご参加をいただき、現在の市民会館の概要や市内の関連施設の整備状況、他都市ホールの事例などを参考にしながら、4グループに分かれて新しい市民会館の在り方についてグループ単位の討議や意見交換を通じて自由な意見やアイデアをお出しいただき、その中で参加者同士の認識を共有していただきました。

各グループにおいて多岐にわたる貴重なご意見やご提案を取りまとめていただきました。その成果は、整備計画(案)の作成に向けたホールの整備や運営に詳しい専門家で構成する懇話会における検討に活用させていただきたいと考えています。

最後になりましたが、改めましてワークショップにご参加いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。

平成23年9月

堺市文化観光局文化部長

1. 参加者

- ・総数 39名
- ・内訳 男性21名、女性18名

2. 開催概要

第1回 (7月10日(日))	<ol style="list-style-type: none">1. 開会あいさつ2. ワークショップの説明3. 参加者自己紹介4. 情報提供<ol style="list-style-type: none">(1) 現市民会館の施設概要と経過説明(2) 市民アンケート調査結果の報告5. グループ討論 「新市民会館に期待すること」6. 全体発表会<ol style="list-style-type: none">(1) 各グループ代表発表(2) 全体討論7. 閉会 <p>※ワークショップ終了後、希望者の方に現市民会館の見学を行っていただきました。</p>
第2回 (7月24日(日))	<ol style="list-style-type: none">1. 開会あいさつ2. 本日の進め方、資料説明3. グループ討論 「施設の基本的な方向性」<ol style="list-style-type: none">(1) 新市民会館に期待する主な事業(2) ホールの施設内容 (ホールのタイプ及び規模等)4. 各グループ代表発表5. 閉会
第3回 (8月7日(日))	<ol style="list-style-type: none">1. 開会あいさつ2. 各グループでの振り返り3. 本日の進め方、資料説明4. グループ討論<ol style="list-style-type: none">(1) メインホール以外に付加すべき施設(2) 施設の立地条件(3) 運営5. 各グループ代表発表6. 閉会
第4回 (8月21日(日))	<ol style="list-style-type: none">1. 開会あいさつ2. 各グループでの振り返り3. 本日の進め方、資料説明4. グループ討論 「全体のとりまとめ」5. 各グループ代表発表6. 閉会

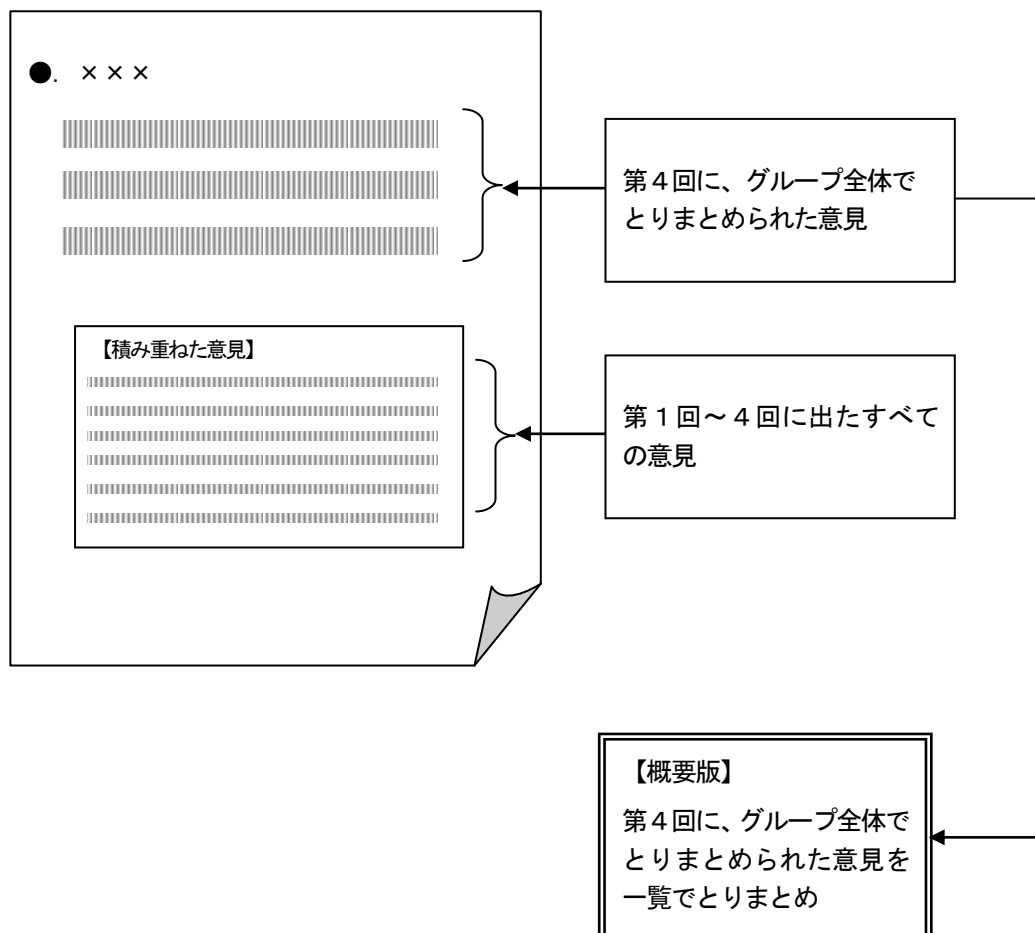
■開催時間 毎回 午後1時30分～4時30分

■開催場所 堺市役所本館3階第1・2会議室

- 進め方
- ・各グループに1名ずつテーブルファシリテーターを配置し、討論の進行を行った。
 - ・各自意見を意見カードに記入し、そのカードをもとに意見を発表する形式とした。
 - ・4グループ（4回を通じて固定）ごとに議論を進め、各回、グループ代表者が全体に対して討議結果をプレゼンテーションした。

3. 本冊子のまとめ方について

グループごとに共通の構成でまとめ、その表記は以下のようにしました。



■ Aグループ

1. 理念・全体像

(1) 理念・基本的な考え方

多くの世代の堺市民が、多様な芸術文化に触れることができる、中核的文化施設。

【積み重ねた意見】

- 多くの堺市民が芸術・文化に関心をもてる音楽・舞踊などの催し物をするホール。
- 文化芸術、音楽文化振興のシンボル施設。
- (兵庫県立芸術文化センターのような)市民と一体感あるホール。
- 観客と演じる者が一体となるホール。
- 音楽やその他の芸術にあまり関心のない(若い)人たちが関心を持てるような魅力あるホールとなるよう工夫する。
- 若者が集まってくるような活気あふれるホール。
- 東京国際フォーラムやフェスティバルホールの堺市版。
- すこし優雅な雰囲気のあるホール。
- 品格あるホール。
- 24時間稼働ホール。

(2) 全体像・イメージ

メインホールのほか、タイプや規模の異なるホールやスペース、多様な設備をもつ複合的なホール施設。

【積み重ねた意見】

- 一般の人でも幅広く来るように演歌などにも対応するホール。
- 世界一舞台の見えやすい観客席の劇場。(前の人の頭がじゃまにならないように) 例：劇団四季劇場
- 文化都市の中心として周辺地域の整備、街全体が活気にあふれ、賑わいがあったり、行きたくなるようなまちづくりを目指す。
- 何をめざすか明確にする。(音楽系か舞台系かなど)
- 席が後ろであっても見やすいホール。
- 客席で食事のできる劇場。

2. 事業と施設

(1) 期待する主な事業

- ・メインホール 優れた芸術文化に出会う事業
- ・中ホール 市民が芸術文化を創造する事業
- ・多目的スペース 市民が多様な芸術文化を通じて交流する事業

【積み重ねた意見】

- メインホールは、貸館として運営（買取公演、自主興行、共催事業を含む）。商業ベースに乗ったイベントの実施。
- 中ホールは市民活動中心のホール。
- 中ホールは、コンサート、演劇、ダンス、伝統芸能、市民発表会、サークル活動発表会、展示会、企業式典等。ライブハウス、コンサートのリハーサル等にも対応。プロレス、ボクシング等に対応。
- 小ホールは市民サークル活動、市民カルチャー教室、企業説明会、会社会議等に対応。

(2) メインホール

①ホールタイプ

多様な芸術文化に対応する多目的ホール

②規模

2, 000席程度

③設備・機構

オーケストラピット、せり・スッポン、花道などを備え、多様な使われ方に対応する

設備・機構

【積み重ねた意見】

- メインホールは音楽に対応する音響の良いホールで、その他の大型公演も対応する多機能多目的ホール。
- 多目的ホール。
- 3, 500～5, 000席程度規模の多目的ホール。
- 1, 500席以上の多目的ホール。
- オーケストラの公演が可能な多目的ホールで、1, 000席以上。
- 音楽・演劇ができる2, 000席程度の多目的ホール。
- 音響の良いクラシックに対応するホール。
- 歌舞伎が身近に見られるホール。
- 馬蹄形の客席と4層程度のバルコニー席のある、格調高いホール。
- 客席を可動式にすれば、大ホールであっても花道を仮設で設営できる。花道部分のみを床下へ可動収納。また車イス席としても対応が可能になる。

(3) 中ホール

①ホールタイプ

音楽、演劇、古典芸能などに使える多目的ホール

②規模

1,000席程度

③設備・機構

メインホールに準じるフレキシブルな設備・機構

【積み重ねた意見】

- 中ホール：1,000席規模。古典芸能にも重きをおき、畳敷きの楽屋も必要。
- (500席前後のホールは各区にあるので)1,000席くらいの古典芸能ができるホール。(ぜひ花道も作って欲しい。)
- 800～1,000席の多目的ホール。(天井を高くして、古典芸能、ギャラリー、パーティに使える空間とする。)
- 多目的で300～500人規模。
- 800席(楽屋付き)。
- 1,000席以上で古典芸能など和物中心で。その場合はロビーも落ち着いた色調で。
- ステージが可動式(床面収納ができる昇降式)
- 客席(セットバック)が可動式(電動または手動)で、壁面収納ができる。
- 市民組織委員会が中心となって自主興行などのアートマネジメントを行う。

(4) 多目的スペース

①ホールタイプ（スペース）

音楽やバレエの発表会、展示会やレセプションなどにも使える平土間スペース。（リハーサル等にも使用可能）

②規模

500㎡以上（現在の市民会館4階フロアに相当。但し分割使用も可能にする。）

③設備・機構

収納可能な仮設舞台、イスやテーブル、展示パネル・台など、多様な使用目的に対応する設備・機構。

【積み重ねた意見】

- 小ホールが多目的ホールとして使える（イスを移動・収納できるように）。
- シアター形式で200人、スクール形式で100～200人規模（大会議室のイメージ）
- 小ホール：クラシック音楽用。
- 舞台は取り外しができるもので、個人のピアノの発表会やパーティーなどができるスペースに。
- 横浜アリーナの「サンフォニックススタジオ・ホール」のようなイメージ。
- 市民組織委員会が中心になって市民サークル活動、カルチャー教室等を企画立案。
- 吊バトン、センター、上下手の計3本。
- 正面の壁面にスクリーン、白板等を可動式収納（電動または手動）。
- スポット照明（出演者用、前方の上下手。照度は無段階調節機能。）。
- 動力電源等仮設電源が取れるように。

(5) ホール以外の施設・設備

- ・メインホール、中ホール、多目的スペースの使用に必要な楽屋（一部は畳敷き）など、十分な数で使いやすい配置の施設。
- ・レストランやカフェ。
- ・集会室や会議室。

【積み重ねた意見】

- 楽屋と舞台が同じ階でフラットであること。
- 花道がある舞台、楽屋に行きやすい。
- 出演者や裏方さんの使用しやすいように、道具をいれやすいように。
- 花展をする広い会場を併設。
- エントランス・ホワイエの整備。ホール内でイベント開催時でもエントランス、ホワイエでの展示等が行える。
- エスカレーターまたはエレベーターの大きなものを。
- お茶を飲みくつろぐことのできる広い場所。
- 明るいホールで、レストランがある。
- プラネタリウム、映画館を併設。
- （SAYAKA ホール地下にある）コンベンションホールのような多目的空間で、もう少し大きなものを。
- 付属設備：パイプオルガン。
- 図書館をつくる。
- 図書館を併設。
- 気軽に利用できるスタジオ、レッスンルーム。
- 各ホール、スペースへのアクセスが独立しており、同時使用においても干渉しない。
- スタッフルームとしての大部屋（20～30人）を2室。
- 搬入経路の単純化、ロビーから客席内へのアクセスが単純なように。
- 施設エントランスへの導線上にある敷地内をフリースペースとして、区画貸し。イベントに付随した物販（グッズ売場）、コンビニ、ファーストフーズ等の出張販売（保健所に許可を常時とっておく）。
- 太陽光発電を屋上部分に設置する。
- 楽屋を兼ねることができ会議室、和室。
- ギャラリー。（市民も使い、外から展覧会も誘致する。）
- 弁当が買える売店。

【積み重ねた意見（つづき）】

- エントランス～ホワイエ～ロビーについては、絵画等の展示をホールイベント開催時でも実施できるように。
- レストラン、ショップ、常設の展示場。
- 映画館とプラネタリウムを併設。
- 展覧会をする前に会議ができる施設。
- 現在サンスクエアを借りているが費用がかかるので、会議室（50～100席）をつくって欲しい。
- 音楽ホール付近に小ギャラリーがあれば、幕間等の時間に鑑賞しやすいのでは？
- 文化教室的な部屋、ギャラリー的な部屋。
- リハーサル室
- 多面的な練習ができる部屋。
- 現市民会館の大集会室を発展させた可能な限りの大きさ（500㎡以上）の大集会室（分割使用可）をつくり、美術展、花展等に使用。
- 楽屋と舞台は同じ階に。
- 大ホール、中ホールとつながった展示室。
- 楽屋にお茶やお水の飲める場所を。
- 楽屋は音楽公演には広い楽屋が必要。ただし邦楽等の「和」の公演の場合、小さな畳敷きの楽屋（押入れ、座布団、洗面所付き）が必要。そこからは舞台にそのまま行けるように。
- 客席はスロープで舞台をみやすく。すわり心地の良い座席。
- 駐車場は、ホール使用者、身体障害者用のみとし、一般来場者用駐車場は民間にゆだねる。（ホール利用者の駐車は完全予約制。）
- 舞台上で使用するいろいろな設備や道具を独自で持って欲しい。

(6) 全体の特色・配慮すべき点

「バリアフリー」「出演者が使いやすい」「見る人が快適」の3点を基本とする。

【積み重ねた意見】

- どこにもないようなデザインのすばらしい建物に。
- 外観はもちろん、会場までのエントランスが大切。
- 建物のデザイン等を優先するのではなく、使用者、観客にとって使い勝手の良い機能を優先。案内スタッフが不要でないサイン関係の充実。
- 舞台と楽屋が同じ階にあり、年寄りにも使用しやすいバリアフリー。
- 高齢者も使用しやすいホール、例：エレベーター、エスカレーターが使用しやすい場所にあること。
- 利用者が動きやすいこと。

3. 運営

(1) 運営内容・事業

- ・市民が利用しやすい柔軟な運営とする。
- ・財源確保に向けて、いろいろ事業を工夫し、実施する。

【積み重ねた意見】

- 文化拠点の中心となり、貸館としての営業を行う。
- 使用料は堺市が負担できないか。
- 駐車場を少し安くする。
- 施設は「運営」や「利用条件」もたいせつ。
- アートマネジメントを市民主体で行う。
- 利用者へのサービス、また施設の経営にプラスになるように、レストランとショップを設置する。
- イベントのあるなしにかかわらず、エントランスの動線上の敷地を活用し、フリースペースを設け、スペース貸しをして収入源とする。
- ネーミングライツを活用。（中小ホールは別にスポンサー企業を付ける。）
- ショッピング、堺の特産物等の販売、食堂など設置し、収入があるようにする。
- ギャラリー事業で収入を得る。
- 夜間もリハーサルや搬入や仕込ができるような柔軟な運営システムを。
- 利用時間の柔軟性。（24時間稼働）
- プロデューサーなど施設運営ができる人材を育成する。
- 若手の演じ手を育成（人材育成）。
- 大ホールは1日貸し（オリックス劇場の3分の2程度の料金設定）、中小ホールは、午前・午後・夜間の3区分で貸出。
- 収益性のある恒例の長期イベント（毎年開催）、毎月開催する自主イベントのイベンター等との共催。

(2) 運営体制

- ・市民参加型の運営ができる体制。
- ・運営のために優れた人材を確保する。またはそうした人材を育成していく。

【積み重ねた意見】

- 指定管理者制度ではなく独自の運営形態。人が変われば使用者との密接な関係を持ってない。
- ホール運営の一部を住民参加型とする。
- マネージメントのできる館長を。
- 文化プロデュースができるスタッフが必要。そうした人材を育てる。
- 市民参加型の運営を。
- 堺市が出資比率を25%未満とした市関連団体（民間株式会社）で運営する。
- イベントを引っ張れる人脈と人材育成。
- イベント、アーティストを独自に育てる。

4. 立地条件

公共交通の便の良いところを前提とし、緑の確保を工夫する。

【積み重ねた意見】

- 交通の便利なところに。
- 商店街の活性化とつなげる。
- まちづくりとつなげる。
- 堺東駅周辺のような交通条件の良いところに。
- 用地の関係で駅から遠いところになれば駐車場を充実させる。
- 大仙公園のような緑豊かな場所に。
- 堺駅周辺だと大浜公園や三角地などの海に近いところも面白い。
- バスではない公共交通機関が2つ以上あり、限りなく大阪市内に近いところ。
- 駅からのアプローチが文化のにおいがするような遊歩道（境港市の水木しげるロードのような）の設置。
- 付近住民対策（排気ガス、騒音等の苦情が出ない環境）。

■Bグループ

1. 理念・全体像

(1) 理念・基本的な考え方

市民会館は、世界的な文化発信・鑑賞と、市民による気楽で安価な発表利用ができるような施設であるべきで、とくに、若い人や子どもたち、障害のあるひと、育児中の母親などが参加しやすい場にしたい。

【積み重ねた意見】

- 堺から世界的なレベルの文化を発信できるホール。
- 現代社会に対応する施設。
- 堺の歴史のイメージを反映したホール。
- 堺の歴史をつくる会館像。
- 外国人が来たくなるようなホール。
- 市民がもっと気楽に利用できる施設。
- 出入り自由、市民の創造発信の場、大テント張り（ハコモノ不要）。
- 資料では、主催者は超豪華なホールを作ろうとしているのが見え見えだ。個人的には、立派な建物は必要なく、「大テント張りの市民会館」が良いと思っている。他都市と張り合う愚はしてほしくない。それなりでよい。

(2) 全体像・イメージ

そのデザインは堺の歴史イメージをとりいれつつ、これからの堺の未来を作るようなものでありたい。

【積み重ねた意見】

- 単独の施設ではなく、複合施設（隣接する何かなど）とし、稼働率をあげる。
- 市内の他の文化施設との役割分担。
- これからの若者のイメージを大切に。若者の意見をきくことが必要。
- 外観は歴史ある文化を盛り込んでかつ親しみの持てる（入りたいと望む）もの。
- 中庭や広場等、緑を取り入れた動線のある建築、景観。
- 毎回大阪に行かなくても堺でオーケストラがきけるようにしたい。
- 見栄えよりも装置や使いやすさを重視する。

2. 事業と施設

(1) 期待する主な事業

世界レベルの高い鑑賞事業と、市民の文化芸術活動の発表事業。

【積み重ねた意見】

- 市民参加型のイベントやコンサート。
- 幅広い年齢層に合う行事。
- 演目に中南米音楽、とくにオルケスタ・ティピカ方式のアルゼンチンタンゴを。
- メインホールの事業は市民参加型に。

(2) メインホール

①ホールタイプ

クラシックのコンサートも可能な、音響の良い多目的ホール。

②規模

1, 400席程度

【積み重ねた意見】

- 大ホールはオペラを含むクラシック専用（多目的ホールは無目的ホール）。
- 大ホールはオペラを含むクラシック専用、中ホールはポップス・ロック、演歌・歌謡曲。
- 音響が良いことが特色（音響がよければ大物アーティストも呼べる）。
- オペラも含めてひとつおりの演目ができる多目的ホールという方向になる。
- 多目的ホール。
- 座席数は現在の市民会館程度（1, 400）でよい。
- いまの市民会館は演じにくい。
- いまの市民会館は、席から舞台が見にくい。座席が硬い。

(3) 中ホール

①ホールタイプ

多目的。

②規模

800～1,000席

③設備・機構

堺市には沢山グループのある日本舞踊に対応して、(できれば)真っ直ぐな花道が可動式でも付けられるようにしておいてほしい。

【積み重ねた意見】

- 大ホールはオペラを含むクラシック専用、中ホールはポップス・ロック、演歌・歌謡曲。
- 中ホールは音楽専用ホール。800～1000席。
オペラ、日舞にも対応。
- 堺区民用のスペースを兼ねるのが合理的なので、メインホール以外に、各区にある中小ホールや会議室は当然必要であろう。
- 各種団体の発表会に使う。

(4) 小ホール

①ホールタイプ

多目的。

②規模

300席程度のものを、3～4室ほしい。一番需要が多いのは、この規模のものである。

(5) ホール以外の施設・設備

<小さいことが見逃されがちだが、小さいことが使い勝手を左右するので、よく考えてほしい。>

- ・鑑賞前後にゆっくり楽しめるホワイエに喫茶、立礼のお茶もいただけるように。
- ・親子室（ガラス張りで、舞台が見え、音も聞こえるように）、授乳室。
- ・オストメイトトイレ（障害のあるひとや、病気でいろいろなものを携行しているひとにも使える広い多目的トイレ）、トイレの男女比に工夫をしてほしい。
- ・駐車場は立地条件によるが、他施設との共用も考慮。
- ・屋上に太陽光パネルを。
- ・災害時に一時避難所に使えるような工夫をしておく。
- ・もし、今の場所で建替えるならば、周辺環境改善（ラブホテルのサインなどの規制）が必要。

【積み重ねた意見】

- 鑑賞後、余韻を楽しめるロビー、ホワイエに。
- 研修室、リハーサル室は当然必要。
- 無理ならこの際、大中小の会議室は断念する。
- ステータスとしてのレストランと、マクドナルドのような大衆的な外食式の両方がここに欲しい。
- 乳幼児連れの親子も鑑賞できる（議会傍聴室のように、ガラス張りで舞台が見え、音も聞こえ、育児室の声は会場に聞こえない）授乳・託児室。
- 他施設とクロークを併用、兼用できないか。
- 乳母車や車イスに対応する広めのクロークが欲しい。
- 「オストメイトトイレ（個室が広い、障害者や病気のひとにも使える多機能トイレ）」を設けて欲しい。
- コンビニ、お菓子など売る売店はいらぬ。むしろ、堺の観光物産の売店を置いてはどうか。
- 堺らしく、茶室兼用の和室を作ってはどうか。
- 駐車場は、駅近なら最小限、駅遠なら多くの車が収容できるようにしておく。
- 駐車場（一般車50台、11t車×3台）。
- 湯沸し室。
- 救護室。
- 残響時間を調整可能なようにする。
- 堺区民用のスペースを兼ねるのが合理的なので、メインホール以外に、各区にある中小ホールや会議室は当然必要であろう。

(6) 全体の特色・配慮すべき点

市民が使いやすいこと。

【積み重ねた意見】

- 非常時、避難場所として可能な施設。
- 屋根に太陽光パネルを。
- 駐車場に、緊急時用のヘリポートを作っておく。
- （しっかりした建物であることが前提）災害の際には一時避難所に変更できるようにしておく。
- 小さいことが見逃されがちだが、小さいことが使い勝手を左右するので、よく考えてほしい。
- 屋上に太陽光パネル。

3. 運営

(1) 運営内容・事業

効率的で、市民にとって使い勝手の良い柔軟な運営の両立をしてほしい。

(利用時間を絶対に9時とせずに、柔軟に使えるように。いま徹夜して利用予約に並ぶというような野蛮なことが行われているが、期限までに申し込んだ団体を、コンピュータでランダムに抽選にかけて決めるなど、合理的なシステムにしてほしい。)

【積み重ねた意見】

- 金沢、芦屋、水戸の施設の運営を参考に。
- 24時間使えるように。
- 市民に開かれた運営。
- 市民のだれでもが格安料金で使えるホールにするのが良い。
- 文化事業はモトはとれない。税金をつぎ込むことを市民が納得できるシステムはどうあるべきなのだろうか？
- 先週の「みんなの審査会」市民の発言 → 堺市でコンサートを。

(2) 運営体制

効率的で、市民にとって使い勝手の良い柔軟な運営が両立できる運営体制。運営に市民が参加する。

【積み重ねた意見】

- 市民が運営。
- 行政と市民が並列、一体型。
- 運営は市民参加型を。現在の予約の取り方は問題多い。
- 天下り指定管理者が運営するのは、効率、愛想、努力が悪いので、よくない。
- しっかりした主体に経営して欲しい。管理者は財団法人がよいのではないか。
- NPOによる運営、民間企業型の運営が望ましい。
- NPOが市から援助を受けてやるのが良い。
- 基本的に公立民営。運営者は公募（条件は提示）。
- 指定管理者を決める際、それを公開して、候補団体のアピールポイントを市民にわかるようにして欲しい。
- 予約状況がガラス張りになるシステムづくりが必要。
- やりたい人はいっぱいいるのに縦割り行政で、どこで受け付けてくれているのかも分からない。（文化振興財団への事業補助について）

4. 立地条件

市の中心部の、眺望と公共交通の便が良い場所に。

具体的には、「大浜公園」「現市民会館の場所」「市民病院跡地（宿院）」の3案。

【積み重ねた意見】

- 立地条件はこれでよいか。狭いが（駐車場等）便利の良いところ、便利が悪いが（駐車場等）広い。
- （末永くあってほしいので）場所は耐震、バリアフリー、ハザードマップにかからない所に建てる。
- できれば（駐車場等）狭くても便利のよいところに。
- 南海堺駅直結、ベイエリアスペース（見晴らしの良いビューポイント、夕日の美しいホール、老若男女が楽しめる）イメージは大浜公園。
- 堺区民のことを配慮して現市民会館の土地に建替えるのがよい。他区はすでに各区ホールがあるから必要ない。
- 場所が本当に、まだ決まっていないのであれば、絶対に旧市民病院跡地につくって欲しい。文化観光拠点用地でもあるし、チン電の停留所があり、堺東駅と堺駅の間を路面電車で結べば、堺市以外からも来やすい。
- 堺の中心地に作って。堺のまちもそれによって活性化するように。
- 建設時期、優先順位によって立地は変化するだろう。
- 堺市所有地で、文化課が担当する敷地以外の土地も示して欲しい。その中の適地を選ばせて欲しい。
- 将来、災害がある事を見込み、津波から避けられる所に。
- 議会では堺市庁舎前のビルを建替えることを議論していたが、その場所はナンセンス、レジャービルになってしまう。
- 仁徳陵見学館予定地はどうか。

【付記】

- ・今後この問題の決定過程・決定理由を市民に対してできる限り透明なものにしてもらいたい。
- ・今後この問題の決定過程には、女性の市民公募委員を多く入れるなど、できるだけ女性の視点を多く入れるようにしてもらいたい。
- ・この問題に、できるだけ多くの市民が関心を持てるよう、広報等を工夫してほしい。（民放の安い時間帯に定期的に、短時間でも、堺市政情報の提供をしてはどうか）

■ Cグループ

1. 理念・全体像

(1) 理念・基本的な考え方

堺市全体の芸術文化の中核施設にふさわしく、文化の香り高い、文化を「創造」「鑑賞」する場となる。

【積み重ねた意見】

- 見るからに文化の香りがする仕掛けがあるホール。
- 文化を創造する場所としての機能（防音、広さ、倉庫）。
- レベルの高い、文化の香り高い事業をするホール。
- 鑑賞型の世界や日本を代表するものも呼べる。
- レベルが高く、企画力・集客力のある施設。
- 地域で行われている団体の集合場所、発表の場として使いやすい機能がある施設。
- 市民会館の建替えという考え方ではなく、堺市全体の芸術文化中核施設をつくるということ。

(2) 全体像・イメージ

- ・賑わいが常にあり、特に若い人が集まって芸術文化のセンター機能を果たすような、ホール系・練習系・集会系施設で構成される施設。
- ・音響ほかの設備が充実しており、プロが評価する施設。

【積み重ねた意見】

- 音楽ホールを望むが、全市の大会（講演会）を開く回数も多いと思うので、マルチビジョンのような機能があると良い。
- 80万政令都市としての中核文化芸術施設としてホール部分と他施設（練習場、集会室）をつくる。レストラン、ショップ等のサービス施設は不要かも。
- センター機能、しかしホール、練習、会議は分ける。
- 会館内で有意義な催しができることが、利用に便利である。教室、集会、イベント、図書館 etc.
- 音響、照明、道具制作、舞台装置などの設備を充実して利用率を高める。

2. 事業と施設

(1) 期待する主な事業

- ・ 音楽系～クラシック・オペラ・バレエ・ポピュラー音楽…
- ・ 演劇系～オペラ・演劇…
- ・ 集会系～コンベンション・講演会…
- ・ 邦楽系～邦舞・邦楽…
- ・ その他～映像 など

【積み重ねた意見】

- レニングラードバレエや海外オペラのような芸術性の高い舞台を誘致できるようなホール。(しかし動員力は要検討)

(2) メインホール

①ホールタイプ

- ・音楽系多目的ホール

②規模

- ・1,600～1,800席

③設備・機構

- ・三面舞台・オケピット

【積み重ねた意見】

- 多目的ホールはだめだと思います。市内のホールには役割分担をさせて、専用ホールをつくりたい。
(できれば音楽関係)
- 従来よりは多目的であること(できるだけいろいろな文化が利用できるよう)。
- ホールが多目的に合わせて沢山ある施設。
- 市民会館は良い。今の市民会館ぐらいの大きなもの
- 1,800席で音楽中心の多目的ホール。中ホールは800席で演劇対応ホール。小ホールは300席でピアノの発表会や室内楽などに対応するホール。
- 1,500席。芸術の香り高いオーケストラやオペラ公演に対応するホール。
- 800～1,000席ぐらいの音響の良いホール。
- オペラ、バレエ、クラシックコンサートもでき、和洋の舞台芸術も可能な、よそにはないような特殊な多目的ホール。
- クラシック、バレエ、ポピュラー音楽、オペラに対応する音楽専用ホール。(音響が悪い施設は使えない。)
- オペラ、バレエ、オーケストラなどの公演で、今の大阪では十分できない事業が可能なホール。
- 堺市にはオペラ、バレエ、オーケストラの団体が数多くある。オーケストラピットのあるホールにすれば鑑賞型の世界や日本を代表する演目も誘致できる。
- 各区には700席、400～500席のホールがあるので、堺区には中核となるメインホールをつくる。
- 音楽、演劇ができる2,000席程度の多目的ホール。
- メインホールについては使いやすい施設に。舞台の間口、奥行、舞台袖、プロセニウム高、スノコ高、客席、搬入口、搬入駐車場、楽屋など利用者と専門家の意見をよく聞くこと

(3) 中ホール

①ホールタイプ

- ・演劇対応(邦楽・邦舞等)ホール

②規模

- ・600～800席

③設備・機構

- ・セリ・花道…

【積み重ねた意見】

- 客席を800席位、花道は長く立派に、楽屋の数(小部屋)多く。
- 1, 800席で音楽中心の多目的ホール。中ホールは800席で演劇対応ホール。小ホールは300席でピアノの発表会や室内楽などに対応するホール。
- メインホールを中心に置いてそれに付随する施設としては多目的に使いやすくあれば良いと思う。
- 800～1,000席。オペラ、日舞にも対応。(セリ)
- 1つは平土間にして多用途に使えるようなものにする。
- 中小ホールはいらない。(他区の既存のホールで使用可能だから。平土間があればよい)

(4) 小ホール

①ホールタイプ

- ・平土間多目的スペース

②規模

- ・300～400席

③設備・機構

- ・舞台・照明等の機能もつく。室内楽も可能

【積み重ねた意見】

- 300席程度の舞台もある。映像発表用ホール。設備は映画館と同じような質・内容のものを。
- 1, 800席で音楽中心の多目的ホール。中ホールは800席で演劇対応ホール。小ホールは300席でピアノの発表会や室内楽などに対応するホール。

(5) ホール以外の施設・設備

- ・練習室、リハ室、楽屋、楽器庫、倉庫…豊富に
- ・バックヤードが充実し、グレードを保つ。エレベーター等にも配慮

【積み重ねた意見】

- ロビーコンサートやホワイエでミニコンサートもできるような空間。
- レストラン、ショップは不要。
- 客席を800席位、花道は長く立派に、楽屋の数(小部屋)多く。
- 200人収容規模の平土間スペース。(コンベンション、会議、パーティ、ミニコンサートなどの多用途に対応)。
- 200㎡以上のリハーサル室や大中小のリハ(練習)室のある市民創造の場とする。
- 練習用の機能やスペース。
- レストランとショップを併設する。
- (メインホール(音楽系)の他に必要なものは)練習室、会議室、楽屋を必要な数だけつくる。(広さも含めて)
- リハーサル室及び練習室をたくさん。(特大音量(和太鼓、音響卓対応)大音量(オーケストラや大合唱)バレエ・ダンス対応、邦舞・邦楽対応、個人、小規模対応。10室とか20室)。
- 無料託児室(プレイルーム)。
- 親子室内にトイレや洗面施設を付属する。
- ふだんから出入りできるような図書館やギャラリー・工房などが含まれていて、ホールの催し物のポスターなどが目に付く環境。集会に使いやすいいろいろな大きさの会議室がある。
- 楽屋に和室・洋室も必要。
- ギャラリーを併設する。
- トイレ・化粧室(収容人数に合わせて洋式のものがよい)。
- 倉庫というか格納庫も必要。
- 楽器庫、倉庫を有料でいいのでたくさん。(5部屋以上)
- 大型楽器や道具を運べるエレベーターを。
- サロン風の演奏会場。150席くらい。(平土間)
- 中小ホールがあればよいが、東文化会館のフラットホールのようにリハーサル場所としても使えるし、少し立派なイスを置くとサロンコンサートや、ピアノの発表会ができる。照明が工夫できて、同じ空間の中で演劇が発表されるような部屋。バレエのレッスン室にもなるようなそういう部屋が何個かあると良い。(平土間)

(6) 全体の特色・配慮すべき点

- ・ バリアフリーの徹底(車椅子席は10~20席今まで以上に確保、トイレ・ホール・ロビー等へのアクセスに配慮)
- ・ 建物の周りに十分なオープンスペースを

【積み重ねた意見】

- バリアフリーの徹底。
- 建物の周りに十分なオープンスペースが必要。避難所機能も。

3. 運営

(1) 運営内容・事業

- ・利用料を安く(ホール使用料だけでなく、駐車場等に関して)
- ・条例づくりから利用者の声を反映し、市民参加のシステムを
- ・自主事業予算は潤沢に

【積み重ねた意見】

- 市民団体が利用しやすいように、車で来た時の駐車料も安く。
- 他のホールにはない高度な設備、音響のホールで、安く借りられるように。
- ホールの付属設備は利用料を安くする。堺は器具使用料が高い。
- 24時間体制でもできるくらいのやり方を。
- 自主事業の予算を十分に確保する。建設費の何%を投入するくらいの仕組みを。
- 民間の団体が借りやすかったらよい(多少高くても気持ちいいスタッフがいるとまた使おうかということがある。)

(2) 運営体制

- ・指定管理でも直営でもいずれも可
- ・市民参加の運営体制を(協議会委員から「もぎり」ボランティアまで)
～ただしサービスのグレードは保持!

【積み重ねた意見】

- 指定管理ではなく直営に。(指定管理は料金が高くなる)
- 堺市が主体になり民間の力を活用できれば良い。(部門によって民間委託)
- 指定管理のよさは十分感じている。
- 施設は直営(市)がのぞましい。
- 市民参加で運営協議会をつくる。
- ホール運営の一部を住民参加型。(ボランティア)
- 市民参加型に。現場で働いてもらえる人を。(ボランティア)
- 市民ボランティアにわが町ホールの意気込みで参加・協力してもらおう。

4. 立地条件

- ・交通の便が良いこと
- ・主要駅に近いこと
- ・緑の多い場所に

【積み重ねた意見】

- 交通の便がよく、まわりが賑わっている場所。
- 駅に近い所。
- 公共交通機関で行きやすい所。
- 会館のまわりの環境、緑地公園の中に。
- 堺区内、交通の便を考える、街づくりと総合的に考える必要あり。
- 主要駅に近い。徒歩10分以内。
- 駅からそんなに遠くなく、商店街も適度に発達していて、商店街をぬけると環境が一転して文化的雰囲気
が漂い、気持ちが新しくなるような場所。
- 徒歩10分以内で集まれる場所。駅の近くになると思う。堺東、堺市駅、堺駅。
- 南海堺駅。
- 緑の多い場所。例えば大泉緑地の中。
- 大仙公園内、大泉緑地
- 公園の中。例えば大仙公園でつくれるだろうか。
- 地下に駐車場を建設するのは高額になるので、周辺に駐車場（有料）が多くあるところ。
- 入場前の待ち時間を気持ちよく過ごせるスペース。

■Dグループ

1. 理念・全体像

(1) 理念・基本的な考え方

①施設整備の理念・目的

- ・ 堺の都市魅力の創造・発信に貢献する。
- ・ 国内外の観光客の誘致・まちの賑わいの創出に貢献する。

②施設の基本的な考え方

- ・ 政令市及び世界遺産級文化のある堺市にふさわしいホール。
- ・ 堺は日本にこだわったほうがいい。和を重視し、よそにない特色を出す。
- ・ 堺市の文化の中心となるような施設で、若者も来るような施設。
- ・ 海外の大物アーティストの公演にたえうるような施設。
- ・ 仁徳陵が世界遺産になったら世界的な催し物、公演ができるホールが必要。

【積み重ねた意見】

- 政令市及び世界遺産級文化のある堺市にふさわしいホール。
- 堺は日本にこだわったほうがいい。和を重視し、よそにない特色を出す。
- 堺市の文化の中心となるような施設で、若者も来るような施設。
- 海外の大物アーティストの公演にたえうるような施設。
- 仁徳陵が世界遺産になったら世界的な催し物、公演ができるホールが必要。

(2) 全体像・イメージ

- ・メインは必ずしも大ホールではなく、大中小それぞれのホールで行われることによって、メインは生まれるという考え方とする。
- ・大ホールは音楽中心、中ホールは演劇中心、小ホールは多目的（市民が自由に、多様な用途）に使えるようにする。

【積み重ねた意見】

- 会議室は除いたホール専用の会館に。（用途を限って不要なものをつくらない。）
- 大（音楽中心）・中（演劇中心）・小（多目的）ホールの完備。
- 世界の市民会館、（堺の事業として）NHKみたいななど自慢を催し、世界に向けて流す。
- 一般の人も興味がわくような使われ方、事業とする。
- だれでもが参加できるような使われ方。心がいやされるような何か・・・。
- 大3,000、中1,500、小800。
- 大中小別のホールで分類し、各分野の専門家の意見を取り入れ参考にする。（例：落語、文楽、歌舞伎別）

2. 事業と施設

(1) 期待する主な事業

- ・歌舞伎、能楽、祭などの伝統文化、コンサートなどの事業を。
- ・自主事業、買取事業を組み合わせる。
- ・鑑賞型と市民参加型をうまく組み合わせた事業。

【積み重ねた意見】

- 歌舞伎、能楽、コンサートなどの事業を。（歌舞伎、能楽は中小ホールでも可）
- 自主事業50%、買取事業50%。
- 鑑賞型と参加型をうまく組み合わせた行事。（例：市民合唱団で「第九」を5年間やったような。）
- 使われ方は市民参加型に。
- 全国の歴史的な舞踊や祭などの事業。

(2) 大ホール

①ホールタイプ

- ・クラシック、ポピュラー等音楽中心とし、バレエ、オペラのような大型公演に対応したホール
- ・国際的・全国的な会議等にも対応

②規模

- ・2,000～2,500人

【積み重ねた意見】

- 音楽専用ホール（国際レベルの音響効果を重視）。
- 大ホールの音響を良く。
- 多目的に使えるホール。
- 2,000～2,500席の多目的施設。オーケストラ、バレエ、（音楽）ミュージカルに利用。
- 音楽専用の機能を備えつつ、大型のバレエや演劇にも転用できるように。
- クラシック専用とし、音響を重視する。
- メインホールの事業はバレエを想定する。（オーケストラピット、舞台の奥行きが必要。）
- オペラ、クラシック他、演劇、歌舞伎もできる多目的型に。
- 多目的ホールならNHKホールのような3,000席のものが最高。（仁徳陵が世界遺産になれば国際会議の会場にも広げられる。）
- 2,500～3,000席のホールとし、50～100年後の使用に耐えるような施設に。
- 大型公演ができるように。
- 大ホールは堺市の場合、音楽中心とばかり言えない気がする。09年日本女性会議が堺で行われたが、会場がなく市民会館とリーガロイヤルホテルに分かれた。多くの人が集まる場所も考える。

(3) 中ホール

①ホールタイプ

- ・歌舞伎、狂言、日本舞踊など伝統芸能、演劇専用で使えるホール。
- ・生の声を考慮した施設とする。

②規模

- ・800人

③設備・機構

- ・花道（脇）
- ・せり上がり
- ・スッポン（小型のせり）

【積み重ねた意見】

- 演劇（歌舞伎、舞踊、新劇、文楽、狂言等）専用で日本文化芸術が演じられる場。
- 500人前後（小ホール100人以下、会議室20～30人：3室程度）。
- 800席～900？、1,000迄（舞台の奥行15m、両袖のスペース、搬出）
- 約900人。日本舞踊の発表会から考えると、花道（国立のような）、スッポン（小型のセリ）をつくってほしい。（例：御堂会館、国立文楽劇場）

(4) 小ホール

①ホールタイプ

- ・ 多種多様な用途に適したホール
- ・ ギャラリー、子どものための人形劇など市民が自由に使えるホール

②規模

- ・ 300～400席

③設備・機構

- ・ オープンステージ
- ・ 可動席
- ・ 水まわり設備（展示スペースに付随）

【積み重ねた意見】

- 講演会、各種リサイタル（個人、少人数グループ）展示会等が開催できる場所。
- 400席くらい。多目的に使えるように。（できれば“こども劇場”なるといいなあ～と思うけれど。）
- 小ホール100人以下（中ホール500人前後、会議室（20～30人：3室程度））。

(5) ホール以外の施設・設備

- ・市民会館屋上への大観覧車の設置（集客のためのしかけとして）
- ・大中小ホール共通ロビー
- ・レストラン、軽食堂
- ・展示ギャラリー
- ・音楽スタジオ
- ・リハーサル室、会議室、大集会室（中ホールの附属施設）
- ・シャワー室（付浴槽）、メイク室・更衣室（姿見付）
- ・託児スペース
- ・大型のエレベーター（客用・荷物用）、楽屋階段、搬入スペース

【積み重ねた意見】

- エレベーターは客用、荷物用ともに大きい物を。
- 花道（脇）を設置。
- レストランを設置。
- 楽屋階段を設置。
- 多目的室（空間）の充実（展示にも使えるよう、すのこをつけ、天井を高く）。
- リハーサルは現在ホール舞台を使っているくらいだからリハーサル室は不要（運用の仕方でもなる）。
- 市議会の中継を見られるようにする。
- 現市民会館の大ホールの舞台は、奈落など設備の使い勝手が悪い。利用者のニーズにあった設備が必要。
- 搬入スペースの確保。
- 多目的に使えるホールにギャラリー展示を兼ねる場合、よく利用される方の意見を聞いて欲しい。北野田の文化会館は使いにくい。
- 会議室（20～30人：3室程度）（中ホール500人前後、小ホール100人以下）。
- スタジオのような音楽の録音施設。（世界の著名な音楽家が利用し、堺から発信できるように。）
- 中ホールの附属施設として大集会室。（フリースペースで、練習（リハーサル）にも、展示にも使えるような。）

【積み重ねた意見（つづき）】

- シャワー室（付浴槽）、メイク室・更衣室（付姿見）。
- 大中小ホールの共通ロビー、軽食堂、展示ギャラリーのスペースを設ける。
- 中ホール（約900人）スッポン（小さなセリ）、セリ上りもできれば。
- 水まわり設備（展示スペースに付随）。

（6）全体の特色・配慮すべき点

- ・市民が行ってみたいとなる市民会館、市民が参加してみたいとなる市民会館に育てていくことができるようにする。
- ・公的予算だけで必ずしもつくらなくてよい。段階的に整備する方法でもOK。予算は最小限にとどめる。
- ・自然エネルギーの利用
- ・車イスでも座席に行けるように。
- ・和にこだわる外観デザイン

【積み重ねた意見】

- 公的予算だけで必ずしもつくらなくてよい。
- 段階的に整備する方法でもOK。
- 予算は最小限にとどめる（借金が多いため大ホールはビッグアイを使用すればよい）。
- 自然エネルギーの利用
- 車イスでも座席に行けるように。

3. 運営

(1) 運営内容・事業

- ・堺市民の利用の場合の使用料金は半額とする（含オプション費用）。
- ・スポンサー付きホール（ネーミングライツ）

【積み重ねた意見】

- 堺市民の出演する場合の使用料は半額とする。
- スポンサー付きホール(兵庫県立芸術文化センターのネーミングライツのような)。
- リハーサルにホールを使えるように。
- ネーミングライツ。

(2) 運営体制

- ・人脈・金脈のあるトップの下で市民参加型の運営委員会が機能する体制
- ・民間の力で運営

【積み重ねた意見】

- 今のような財団等による指定管理者でないほうが良い。(現状はシバリがきつい)。
- 運営委員会のような組織。市民参加型。企業協力。市役所。
- 民間委託。
- 各市の公共施設は財団法人形式で管理者が管理しているが、管理者は民間人が望ましい。(例：兵庫県立芸文センターの佐渡裕氏)
- 堺からスター（営業マン）をつくり、言葉は悪いが広告塔になってもらうような。

4. 立地条件

2つのプランを提案

- ・大阪女子大跡地（森の中のホール）。
- ・堺東周辺（交通の便を優先、参加しやすい場所）、堺東駅付近の再開発に合わせて整備する。

【積み重ねた意見】

- 現在の市民会館の場所の建替え。
- 駅に近いこと。
- 文化観光の拠点とする（世界遺産の場所に設置）。
- 周辺は緑を多く、時間をかけてでも森をつくる。
- 新しい森（太陽と緑と風と）をつくり、森の中にホールをつくる。
- 活断層のチェックが必要。
- 駅近（堺東）。高島屋はどうなるの。なくなるなら駅上に。堺東の活性化にもつながる事にも。
- 市民会館前に四つ橋線を延長し、停留所を設置し、地下街センターを開発する。
- 雨に濡れなくてアーケードを歩いて行けるホール。
- JR駅より歩10分以内。木または芝を多く取り入れる。
- 交通に便利なところ（駅に歩いていける）。
- 百舌鳥墳群の一部、仁徳陵に近い大阪女子大廃校跡が望ましい。
- 大阪女子大跡地（JR百舌鳥駅から徒歩10分）。
- まちの中に新しい森づくり、その中に施設をつくる。

市民会館の在り方を考えるワークショップまとめ（概要版）

		Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
1. 理念・全体像	(1) 理念・基本的な考え方	多くの世代の堺市民が、多様な芸術文化に触れることができる、中核的文化施設。	市民会館は、世界的な文化発信・鑑賞と、市民による気楽で安価な発表利用ができるような施設であるべきで、とくに、若い人や子どもたち、障害のあるひと、育児中の母親などが参加しやすい場になりたい。	堺市全体の芸術文化の中核施設にふさわしく、文化の香り高い、文化を「創造」「鑑賞」する場となる。	①施設整備の理念・目的 ・堺の都市魅力の創造・発信に貢献する。 ・国内外の観光客の誘致・まちの賑わいの創出に貢献する。 ②施設の基本的な考え方 ・政令市及び世界遺産級文化のある堺市にふさわしいホール。 ・堺は日本にこだわったほうがいい。和を重視し、よそにない特色を出す。 ・堺市の文化の中心となるような施設で、若者も来るような施設。 ・海外の大物アーティストの公演にたえうるような施設。 ・仁徳陵が世界遺産になったら世界的な催し物、公演ができるホールが必要。
	(2) 全体像・イメージ	メインホールのほか、タイプや規模の異なるホールやスペース、多様な設備をもつ複合的なホール施設。	そのデザインは堺の歴史イメージをとりいれつつ、これからの堺の未来を作るようなものでありたい。	・賑わいが常にあり、特に若い人が集まって芸術文化のセンター機能を果たすような、ホール系・練習系・集会系施設で構成される施設。 ・音響ほかの設備が充実しており、プロが評価する施設。	・メインは必ずしも大ホールではなく、大中小それぞれのホールで行われることによって、メインは生まれるという考え方とする。 ・大ホールは音楽中心、中ホールは演劇中心、小ホールは多目的（市民が自由に、多様な用途）に使えるようにする。
2. 事業と施設	(1) 主な事業 期待する	・メインホール 優れた芸術文化に出会う事業 ・中ホール 市民が芸術文化を創造する事業 ・多目的スペース 市民が多様な芸術文化を通じて交流する事業	世界レベルの高い鑑賞事業と、市民の文化芸術活動の発表事業。	・音楽系～クラシック・オペラ・バレエ・ポピュラー音楽… ・演劇系～オペラ・演劇… ・集会系～コンベンション・講演会… ・邦楽系～邦舞・邦楽… ・その他～映像 など	・歌舞伎、能楽、祭などの伝統文化、コンサートなどの事業を。 ・自主事業、買取事業を組み合わせる。 ・鑑賞型と市民参加型をうまく組み合わせた事業。
	(2) メインホール	①ホールタイプ 多様な芸術文化に対応する多目的ホール ②規模 2,000席程度 ③設備・機構 オーケストラピット、せり・スッポン、花道などを備え、多様な使われ方に対応する設備・機構	①ホールタイプ クラシックのコンサートも可能な、音響の良い多目的ホール。 ②規模 1,400席程度	①ホールタイプ ・音楽系多目的ホール ②規模 ・1,600～1,800席 ③設備・機構 ・三面舞台・オケピット	①ホールタイプ ・クラシック、ポピュラー等音楽中心とし、バレエ、オペラのような大型公演に対応したホール ・国際的・全国的な会議等にも対応 ②規模 ・2,000～2,500人
	(3) 中ホール	①ホールタイプ 音楽、演劇、古典芸能などに使える多目的ホール ②規模 1,000席程度 ③設備・機構 メインホールに準じるフレキシブルな設備・機構	①ホールタイプ 多目的。 ②規模 800～1,000席 ③設備・機構 堺市には沢山グループのある日本舞踊に対応して、（できれば）真っ直ぐな花道が可動式でも付けられるようにしておいてほしい。	①ホールタイプ ・演劇対応（邦楽・邦舞等）ホール ②規模 ・600～800席 ③設備・機構 ・せり・花道…	①ホールタイプ ・歌舞伎、狂言、日本舞踊など伝統芸能、演劇専用で使えるホール。 ・生の声を考慮した施設とする。 ②規模 ・800人 ③設備・機構 ・花道（脇） ・せり上がり ・スッポン（小型のせり）

		Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
2. 事業と施設 (続き)	(4) 小ホール	<p><多目的スペース></p> <p>①ホールタイプ (スペース) 音楽やバレエの発表会、展示会やレセプションなどにも使える平土間スペース。(リハーサル等にも使用可能)</p> <p>②規模 500㎡以上 (現在の市民会館4階フロアに相当。但し分割使用も可能にする。)</p> <p>③設備・機構 収納可能な仮設舞台、イスやテーブル、展示パネル・台など、多様な使用目的に対応する設備・機構。</p>	<p>①ホールタイプ 多目的。</p> <p>②規模 300席程度のものを、3~4室ほしい。一番需要が多いのは、この規模のものである。</p>	<p>①ホールタイプ ・平土間多目的スペース</p> <p>②規模 ・300~400席</p> <p>③設備・機構 ・舞台・照明等の機能もつく。室内楽も可能</p>	<p>①ホールタイプ ・多種多様な用途に適したホール ・ギャラリー、子どものための人形劇など市民が自由に使えるホール</p> <p>②規模 ・300~400席</p> <p>③設備・機構 ・オープンステージ ・可動席 ・水まわり設備 (展示スペースに付随)</p>
	(5) ホール以外の施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・メインホール、中ホール、多目的スペースの使用に必要な楽屋 (一部は畳敷き) など、十分な数で使いやすい配置の施設。 ・レストランやカフェ。 ・集会室や会議室。 	<p><小さいことが見逃されがちだが、小さいことが使い勝手を左右するので、よく考えてほしい。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞前後にゆっくり楽しめるホワイエに喫茶、立礼のお茶もいただけるように。 ・親子室 (ガラス張り、舞台が見え、音も聞こえるように)、授乳室。 ・オストメイトトイレ (障害のあるひとや、病気でいろいろなものを携行しているひとにも使える広い多目的トイレ)、トイレの男女比に工夫をしてほしい。 ・駐車場は立地条件によるが、他施設との共用も考慮。 ・屋上に太陽光パネルを。 ・災害時に一時避難所に使えるような工夫しておく。 ・もし、今の場所で建替えるならば、周辺の環境改善 (ラブホテルのサインなどの規制) が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習室、リハ室、楽屋、楽器庫、倉庫 …豊富に ・バックヤードが充実し、グレードを保つ。 エレベーター等にも配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会館屋上への大観覧車の設置 (集客のためのしかけとして) ・大中小ホール共通ロビー ・レストラン、軽食堂 ・展示ギャラリー ・音楽スタジオ ・リハーサル室、会議室、大集会室 (中ホールの附属施設) ・シャワー室 (付浴槽)、メイク室・更衣室 (姿見付) ・託児スペース ・大型のエレベーター (客用・荷物用)、楽屋階段、搬入スペース
	(6) 全体の特色・配慮すべき点	<p>「バリアフリー」「出演者が使いやすい」「見る人が快適」の3点を基本とする。</p>	<p>市民が使いやすいこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの徹底 (車椅子席は10~20席今まで以上に確保、トイレ・ホール・ロビー等へのアクセスに配慮) ・建物の周りに十分なオープンスペースを 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が行ってみたいくなる市民会館、市民が参加してみたいくなる市民会館に育てていくことができるようにする。 ・公的予算だけで必ずしもつくらなくてよい。段階的に整備する方法でもOK。予算は最小限にとどめる。 ・自然エネルギーの利用 ・車イスでも座席に行けるように。 ・和にこだわる外観デザイン
3. 運営	(1) 運営内容・事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用しやすい柔軟な運営とする。 ・財源確保に向けて、いろいろ事業を工夫し、実施する。 	<p>効率的で、市民にとって使い勝手の良い柔軟な運営の両立をしてほしい。(利用時間を絶対に9時とせず、柔軟に使えるように。いま徹夜して利用予約に並ぶというような野蛮なことが行われているが、期限までに申し込んだ団体を、コンピュータでランダムに抽選にかけて決めるなど、合理的なシステムにしてほしい。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料を安く (ホール使用料だけでなく、駐車場等に関して) ・条例づくりから利用者の声を反映し、市民参加のシステムを ・自主事業予算は潤沢に 	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市民の利用の場合の使用料金は半額とする (含オプション費用)。 ・スポンサー付きホール (ネーミングライツ)
	(2) 運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の運営ができる体制。 ・運営のために優れた人材を確保する。またはそうした人材を育成していく。 	<p>効率的で、市民にとって使い勝手の良い柔軟な運営が両立できる運営体制。運営に市民が参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理でも直営でもいずれも可 ・市民参加の運営体制を (協議会委員から「もぎり」ボランティアまで) ~ただしサービスのグレードは保持! 	<ul style="list-style-type: none"> ・人脈・金脈のあるトップの下で市民参加型の運営委員会が機能する体制 ・民間の力で運営
4. 立地条件	<p>公共交通の便の良いところを前提とし、緑の確保を工夫する。</p>	<p>市の中心部の、眺望と公共交通の便が良い場所に。 具体的には、「大浜公園」「現市民会館の場所」「市民病院跡地 (宿院)」の3案。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良いこと ・主要駅に近いこと ・緑の多い場所に 	<p>2つのプランを提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪女子大跡地 (森の中のホール)。 ・堺東周辺 (交通の便を優先、参加しやすい場所)、堺東駅付近の再開発に合わせて整備する。 	